

EXIS LAND

デザインコンテスト2018
受賞作品



発刊にあたって

「エクシスランドデザインコンテスト2018」に多数ご応募いただき、誠にありがとうございました。また、受賞された皆様おめでとうございます。

惜しくも受賞に至らなかった皆様の作品も大変素晴らしく、写真の撮り方も年々レベルが高くなってきております。

巻末の「デザインコンテスト受賞のポイント」の中に、写真の撮り方を掲載しておりますので、是非今後の参考にしていただければ幸いです。

当コンテストも、2007年にスタートして以来、12回目を迎えることができました。これも設計・施工に携わる多くの皆様のお陰だと心より感謝しております。

今回は908作品のご応募をいただき、厳正な審査を経て32作品が受賞されました。応募作品の中には人気の「ラジャストーン」や新商品の「ウインドブリック」を採用した作品も数多く集まり、新しいエクステリアのご提案を見せていただきました。また「リフォーム部門」では、これからますます増えてくるであろうリフォームの需要に対して、参考となる作品が多数集まりました。

この冊子では今回の受賞作品を、審査員である古橋宜昌氏・大熊一幸氏・小西範揚氏の講評とともにご紹介させていただきます。数々の施工コンクールの審査をされてきた経験談や受賞歴のある審査員ならではの受賞ポイント・解説は、皆様のエクステリアデザインにきっとお役立ていただけるのではないかと思います。

また次回のエクシスランドデザインコンテストへの沢山のご応募をお待ちしております。



審査員紹介

ふる はし のり まさ 古橋 宜昌

1958年4月6日生まれ
東京電機大学工学部建設工学科卒業

一級建築士
一級造園施工管理技士
一級土木施工管理技士

有限会社エクスプランニング 代表取締役
エクステリア&ガーデンアカデミー 青山校 校長
一般社団法人 JEXA 日本エクステリア設計協会 会長



おお くま かず ゆき 大熊 一幸

1973年埼玉県越谷市生まれ
日本デザイナー学院インテリアデザイン課卒業

グランフェイス
///LEX-DesignOffice 東京 代表

東京インターナショナルフラワー & ガーデンショー 2010
ベスト・オブ・シティガーデン(大賞) & ゴールドメダル受賞
2018年度 グッドデザイン賞 受賞

一般社団法人 JEXA 日本エクステリア設計協会 主席理事
エクステリア&ガーデンアカデミー青山校 講師



こ にし のり あき 小西 範揚

1972年福岡県生まれ
東京農業大学造園学科卒業

有限会社 田主丸緑地建設 取締役専務
グリーンクリエイター

一般社団法人 JEXA 日本エクステリア設計協会 理事
西日本短期大学 非常勤講師



大手ハウスメーカーのエクステリア部門を経て、1997年に日本では珍しいエクステリアとガーデンの設計業務を請け負う会社「エクスプランニング」を設立。設計業務の傍らエクステリア業界のために、エクステリア専門学校校長、各種エクステリア関連セミナーの講師、様々なメーカー主催のデザインコンテストの審査員として幅広く活躍する。2014年に設立された、「日本エクステリア設計協会」の会長も勤め、エクステリア設計者の地位向上の為の活動にも寄与している。

住宅メーカーのエクステリアブランドビジネスを牽引し、トップディレクターとして業界の最先端を走りインテリア要素をいち早く取り入れ独創的で斬新な作品を数多く発表。2012年にエクステリア&ガーデンデザイン設計事務所「グランフェイス」として独立起業し、建築と敷地空間の一体化計画のランドデザインや、エクステリア機能とランドスケープ的意匠を組合せたエクステリアデザインを提言している。現在は外部空間の意匠設計を中心に、付加価値や役割を伝えるため数多く講演会やセミナーなども行なっている。

東京農業大学造園学科卒業後、大手造園会社勤務を経て、家業である、有限会社田主丸緑地建設を後継。「小さな森のつくり方」・「MODE OF GARDEN」というブランドを立ち上げ、『緑あふれるエクステリア空間』のデザインで知られている。個人邸・集合住宅・商業施設・寺院など、雑木の庭からガーデニングまで幅広く手掛けながら、現在は多くのプロジェクトにも携わる。また、全国で開催される様々な施工・デザインコンテストで、多数受賞。

募集部門

オーダー部門商品

オーダー商品を使用した作品

アプローチ ポスト・表札部門

アプローチでポストや表札を使用した作品

アプローチ ペイピング部門

アプローチの床材に使用した作品

アプローチ ウォール部門

門まわりの壁材に使用した作品

トータルアプローチ オープン・セミオープン部門

門まわり、アプローチに使用した
オープン・セミオープン外構の作品

トータルアプローチ クローズド部門

門まわり、アプローチに使用した
クローズド外構の作品

カースペース部門

車庫まわりに使用した作品

ガーデン部門

テラス・ガーデン（庭）に使用した作品

Eフェンスデザイン部門

Eフェンス、Eウッドスタイル等を使った
デザイン性溢れる作品

新商品部門

新商品を使用した作品

アイデア部門

素材の使い方が工夫された作品

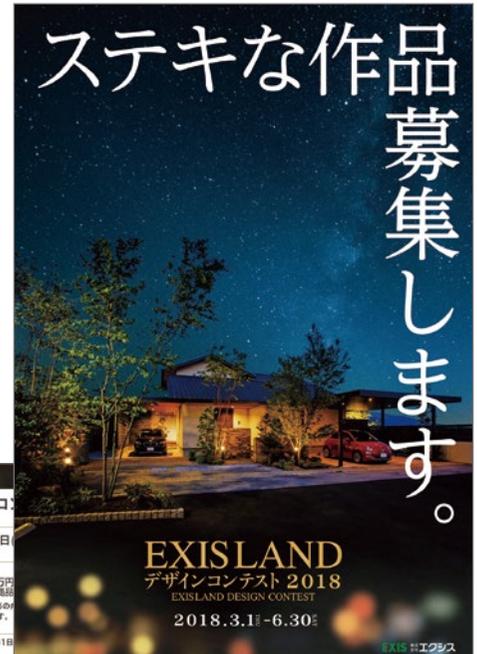
ライティング部門

照明の使い方が工夫された作品

リフォーム部門

ビフォー&アフター写真のある作品

募集広告



EXISLAND デザインコンテスト

■応募期間
2018年 3月1日(木)～6月30日

■入賞賞品
最優秀賞 **10万円分** 賞状
優等賞 **3万円分** 賞状
※賞状・賞状・賞状を贈呈いたします。※表彰の
※参加賞は応募いただいた順に発表いたします。
■応募資格
EXISLANDの商品を使用した環境で2017年7月1日
過去に応募していない作品は随時受け付けています。

■募集部門

- 1 オーダー商品部門 オーダー商品を使用した作品
- 2 アプローチ・ポスト・表札部門 アプローチでポストや表札を使用した作品
- 3 アプローチ・ペイピング部門 アプローチの床材に使用した作品
- 4 アプローチ・ウォール部門 門まわりの壁材に使用した作品
- 5 トータルアプローチ オープン・セミオープン部門 門まわり、アプローチに使用したオープン・セミオープン外構の作品
- 6 トータルアプローチ クローズド部門 門まわり、アプローチに使用したクローズド外構の作品
- 7 カースペース部門 車庫まわりに使用した作品
- 8 ガーデン部門 テラス・ガーデン(庭)に使用した作品
- 9 Eフェンスデザイン部門 Eフェンス、Eウッドスタイル等を使った、デザイン性溢れる作品
- 10 新商品部門 新商品を使用した作品
- 11 アイデア部門 素材の使い方が工夫された作品
- 12 ライティング部門 照明の使い方が工夫された作品
- 13 リフォーム部門 ビフォー&アフター写真のある作品

2017年応募数

部門	応募数	10万円分	3万円分	賞状	その他	合計
1	11	73	164	81	130	26
2	23	149	149	25	29	13
3	91	954				

■応募方法
詳細応募要領、応募サイズ以上にプリントした写真、実尺データ(CD-ROM)を弊社営業用紙までお送りください
※デザインデータの指定は2048×1536ピクセル以上、3メガバイト以上のデータサイズになるように設定後、確認してください。
※同一職種による複数の応募はご遠慮ください。
※応募資格の記入漏れなど、応募規定が満たされない場合は対象とならない場合があります。

■応募作品の扱い
ご応募いただいた施工写真の著作権は当社に帰属するものとし、写真・データ等は盗用いたしませんのであらかじめご了承ください。
※施工写真は弊社ブログやホームページ、チラシ、展示会等の複製等に転載させていただきます。ご了承ください。
※あらかじめお断り願います。

■審査
審査 / 2018年6月
審査員 / 外部有識者 弊社審査員
発表 / 弊社ホームページ、業界誌等で発表。
※並びに受賞作品に掲載いたします。

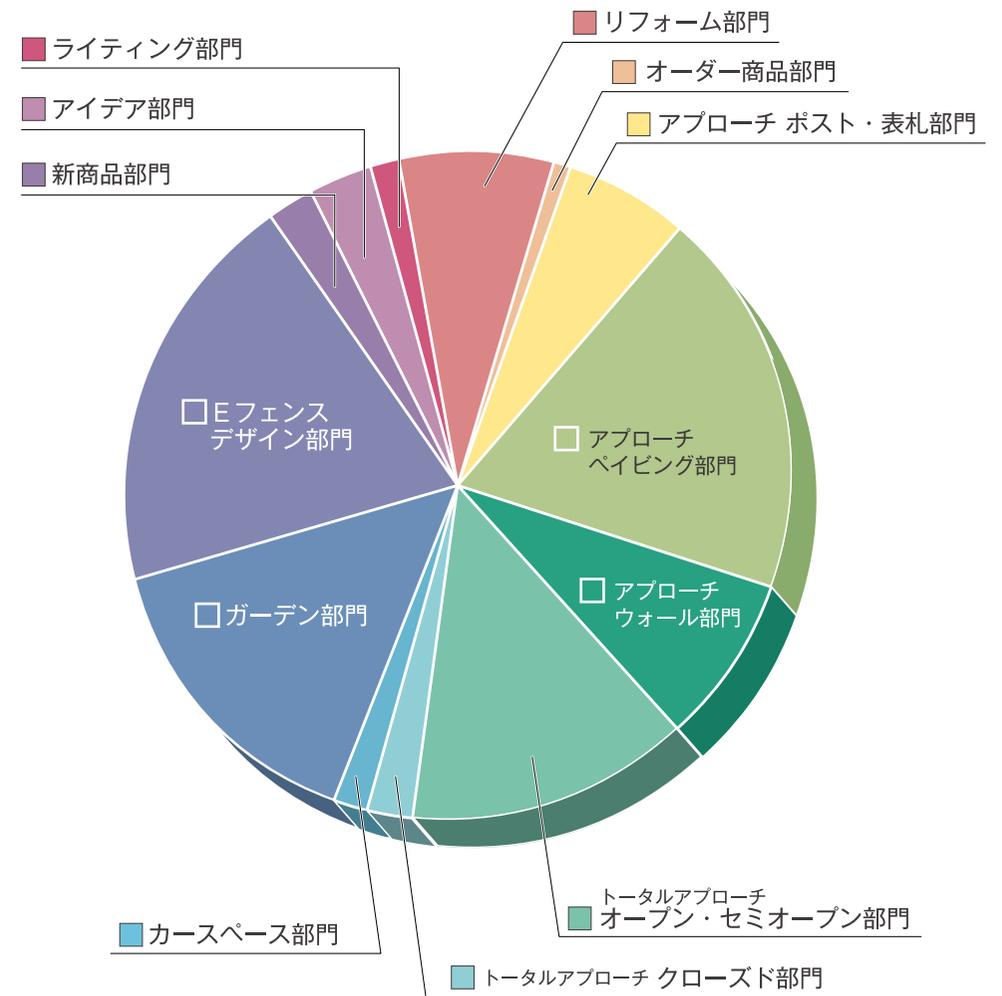
応募状況

今回は 908 作品のご応募をいただきました。
そして、数多く寄せられた作品の中から、
合計 32 作品が受賞しました。

■ 応募・入賞数のご紹介

	各部門応募数	金賞	銀賞
オーダー商品部門	9	0	1
アプローチ ポスト・表札部門	56	1	2
アプローチ ペイピング部門	171	1	2
アプローチ ウォール部門	74	1	2
トータルアプローチ オープン・セミオープン部門	123	1	1
トータルアプローチ クローズド部門	19	1	1
カースペース部門	17	1	1
ガーデン部門	135	1	2
Eフェンス デザイン部門	176	0	2
新商品部門	22	1	2
アイデア部門	27	1	2
ライティング部門	11	1	2
リフォーム部門	68	1	1
合計	908	11	21

■ 部門別応募作品割合



応募作品数 **908 点**

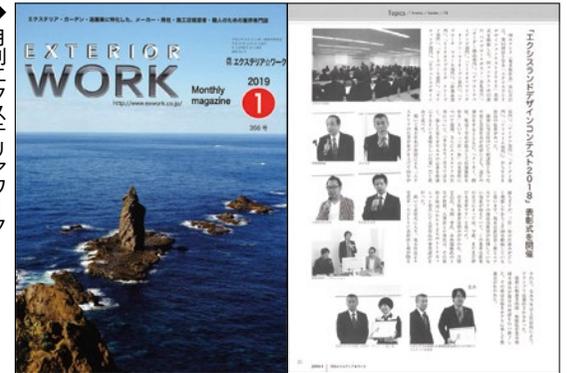
募集から結果発表まで

募集から表彰式まで下記の日程で行いました。
表彰式の様子は週刊エクステリアや
月刊エクステリアワークに掲載されました。

→ 週刊エクステリア
2018年12月11日号掲載記事



→ 月刊エクステリアワーク
2019年1月号掲載記事

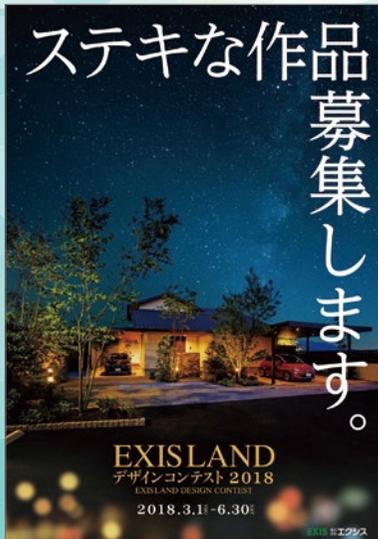


1

募集期間

2018年 3月 1日(木) ~
6月 30日(土)

チラシにて作品の募集を行いました。
908点の応募をいただきました。



2

審査

2018年 8月 23日(木)

厳正なる審査を行い、
各部門の賞が決定しました。



3

結果発表

2018年 11月

業界誌にて
受賞作品を発表しました。



4

表彰式

2018年 11月 21日(水)

エクシス本社にて、
表彰式を行いました。



表彰式



受賞作品と盾



賞状と副賞の授与



懇親会



表彰式



記念撮影

オーダー商品部門 銀賞



審査員コメント

繊細なラインのアイアン門扉と、ボーダータイルのコラボレーションが美しく、ステップに使われた黒色のオーダー石材と植栽が加わることによって、全体を引き締め、まとまりのある作品となっています。



アプローチ ポスト・表札部門 金賞



審査員コメント

輸入住宅の外観に連動した薄めの暖色系石材やアンティークレンガ、アクセントとなるスタンド型ポストが、住まい手のこだわりあるコンセプトを明確に表現しています。また、広がる芝生面が柔らかく、空間に優しい印象を添えた作品でした。

アプローチ ポスト・表札部門 銀賞



審査員コメント

建物の持つ意匠性に合わせた植栽をバランスよく組み合わせながら、車庫空間を単調にならないように、ラウンドとスクエアの目地で、デザインしています。また、門柱・表札・ポストもナチュラルテイストで統一し、程よくバランスがとられた作品です。

アプローチ ポスト・表札部門 銀賞



審査員コメント

高低差のある敷地に設置された、RCの建築基礎が無機質な印象でしたが、自然石調のタイルが持つ柔らかな色彩や、スタンドタイプのポストを合わせることで、アプローチに続くフロントエリアに、住まいの顔となる門周り空間がしっかりと提案され、おしゃれな演出が施されています。

アプローチ ペイキング部門 金賞



審査員コメント

ボーダー状に構成された自然石とグリッド目地の駐車場を、巧みに配置されたグリーンフローが空間に奥行を演出しています。アプローチも動きのある素材で美しく構成し、毎日の歩く楽しみがしっかりと提案、表現されています。

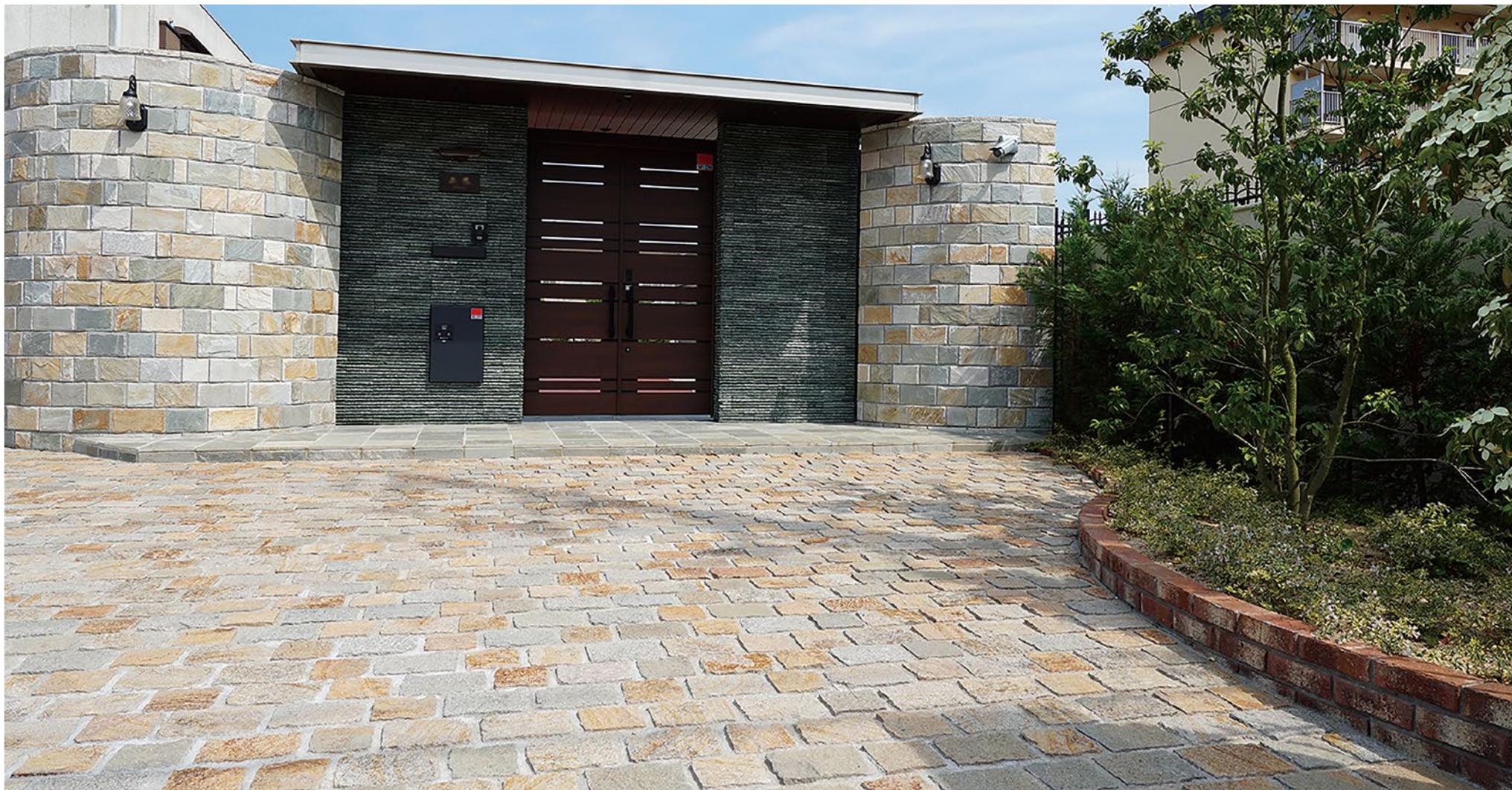
アプローチ ペイビング部門 銀賞



審査員コメント

限られた素材だけで、ナチュラルな装いをうまく表現しています。色ムラのあるピンコロ石と、車庫との境界に飾られた建築装飾に合わせたウッドフェンスが、人の誘導に花を添える柔らかい印象を持つ作品です。

アプローチ ペイビング部門 銀賞



審査員コメント

重厚感のあるファサードの門柱に見劣りしないエンタランスのフランドルポルフィードが、大胆に張り巡らされた迫力のある空間です。深目地に施工された石畳の経年変化による美しいエイジングと石材の陰影による表情が、将来性を期待させるダイナミックな作品です。

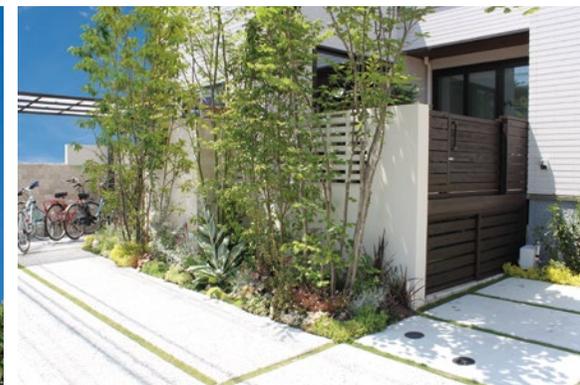
アプローチ ウォール部門 金賞



審査員コメント

特徴的な建築デザインに採用されたウッドウォールに合わせて、やさしく添えられた樹木の枝の動きが空間をデザインし、自然情緒を写した美しい作品です。アプローチ横には低めの積み石を活用し、全体をシンプル且つ繊細なイメージに作り上げています。

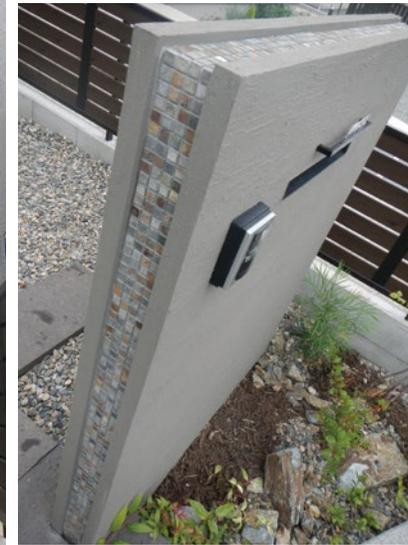
アプローチウォール部門 銀賞



審査員コメント

建物やリビング前のウォール、境界に設けられたポテチーノの袖壁を、グリーンフローでつなぎ合わせ、全体をまとめたファサードデザインが構成されています。門袖に入れられたラインと駐車スペースの目地も、直線だけで美しくまとめられています。

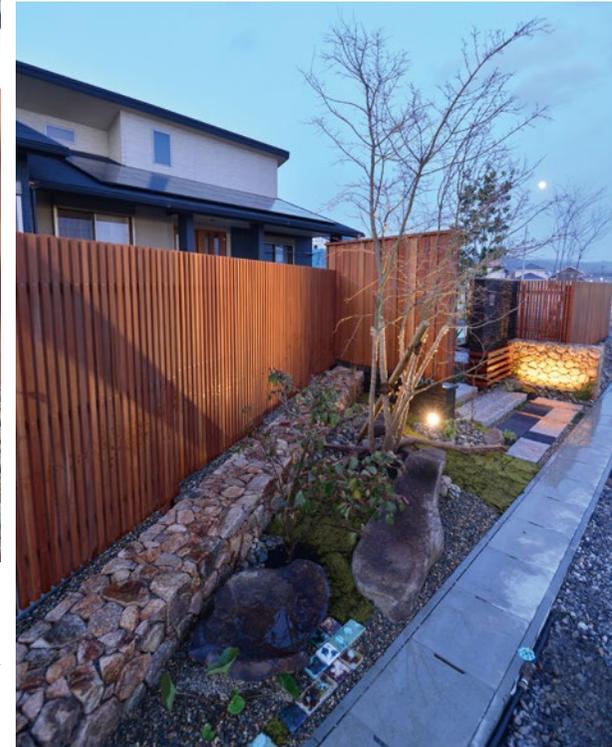
アプローチウォール部門 銀賞



審査員コメント

建築が持つ複雑な形状や素材に対し、小口面までこだわる意匠性を持ち合わせたデザインウォールが、しっかりと提案されています。大きめの樹木とのバランスも良く、住まいの顔となるファサード演出がされている作品です。

トータルアプローチ オープン・セミオープン部門 金賞



審査員コメント

黒系の石材を使ったアプローチと、セラガンバツ材の門袖ウォールによる和テイストで、シックな印象を持つ複雑なファサードをうまくまとめています。門袖前やフェンス下に採用された自然石の野面積みからは、施工技術の高さも伝わる作品です。

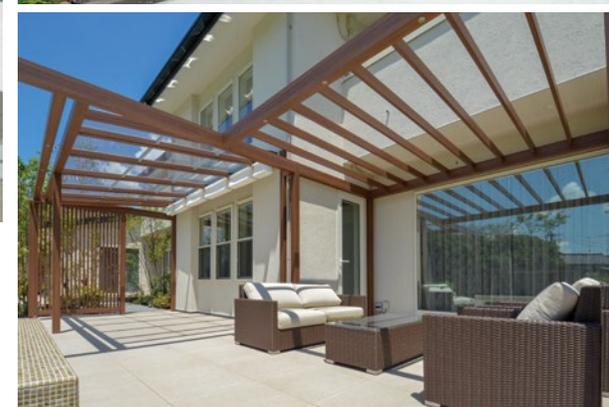
アプローチ オープン・セミオープン部門 銀賞



審査員コメント

ボルケーノとみかげ石の平板による浮遊感のある長いアプローチ計画です。途中に設けられた踊り場では、高低差を生かした動きのある動線計画を採用し、アプローチを巻き込むように柔らかな印象の植栽が、歩く楽しみを演出している美しい作品です。

トータルアプローチ クローズド部門 金賞



審査員コメント

張り巡らされたダークな印象を持つ自然石平板が、オリエンタルな雰囲気演出し、住まい手のコンセプトを明確に表現されています。シャープなデザインで全体をまとめられており、広大な敷地と建築意匠に似合う装飾を、しっかり提案されている作品です。

トータルアプローチ クローズド部門 銀賞



審査員コメント

道路面からの視線を隠す高さに設定した迫力のある塗装壁が、建築意匠に合わせたまとまりのあるファサード空間を構成しています。また、門屋根がポイントとなり、住まい手の表情をしっかりと映し出された作品です。

カースペース部門 金賞



審査員コメント

大きく設けられたフロントファサード空間が単なる車庫や解放地とならぬよう、自然石や砂利、植栽を取り入れ、動きのある駐車スペースを計画しつつ、アプローチと兼用しながら建物へ引き込む演出が施されています。

カースペース部門 銀賞



審査員コメント

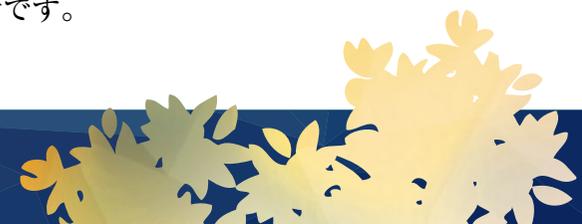
植栽と舗装面と仕切り壁によるシンプルな構成でありながらも、必要なカースペースを十分に確保し、ボルケーノとグリーンフローで空間を上手く組み合わせ、敷地と建物を美しく調和させた、自然な印象を持つ作品です。

ガーデン部門 金賞



審査員コメント

周囲を囲い込む柔らかな樹木を、広めに設定された自然石のデッキテラスから眺め見る心地よさを感じ取れる庭園設計です。木漏れ日と影の動きを自然石テラスに映し出すデザインも素敵な空間を演出しています。



ガーデン部門 銀賞



審査員コメント

居室につながる玄関へのアプローチとしての機能も兼ねた広々とした庭空間は、床舗装材の持つ意匠性によって変化する回遊式庭園の楽しみや、程よい高さに積まれたレンガの花壇で草花を育てる楽しみを取り入れたり、動きのある空間が提案された作品です。

ガーデン部門 銀賞



審査員コメント

建物から離れたアウトリビングステージは、高台の好立地から望む景色を一望できるオーナー様だけの特別な場所となる演出がしっかりと計画されています。ファニチャー・小物・照明など、今後の業界では欠かせない要素を取り入れた新しい提案作品です。

E フェンスデザイン部門 銀賞



審査員コメント

周囲からの視線をEウッドスタイルで仕切り、離れとして設けられたガーデンルームに滞在する心地よさや、プライバシーを保つ計画が施されています。白と茶のアクセントラインで統一された可愛らしい作品です。

E フェンスデザイン部門 銀賞



審査員コメント

タイルデッキ上の木目彫パーゴラに設置された可動式シェードが、やさしい光を採り込み、心地よい空間をしっかりと計画されています。タイルデッキを囲むEウッドスタイルも、パーゴラに合わせたナチュラルカラーで、まとまりのある空間が演出されています。

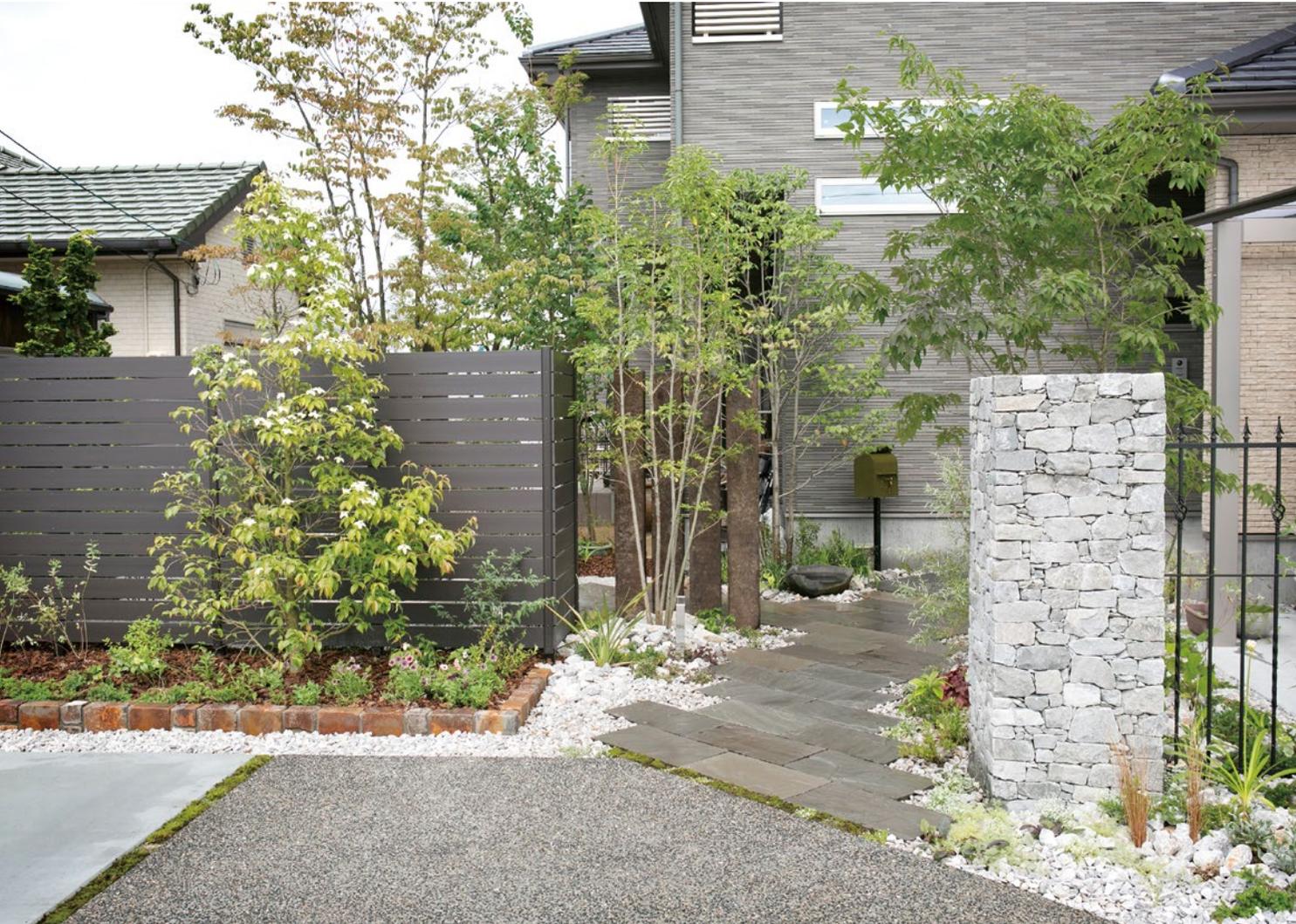
新商品部門 金賞



審査員コメント

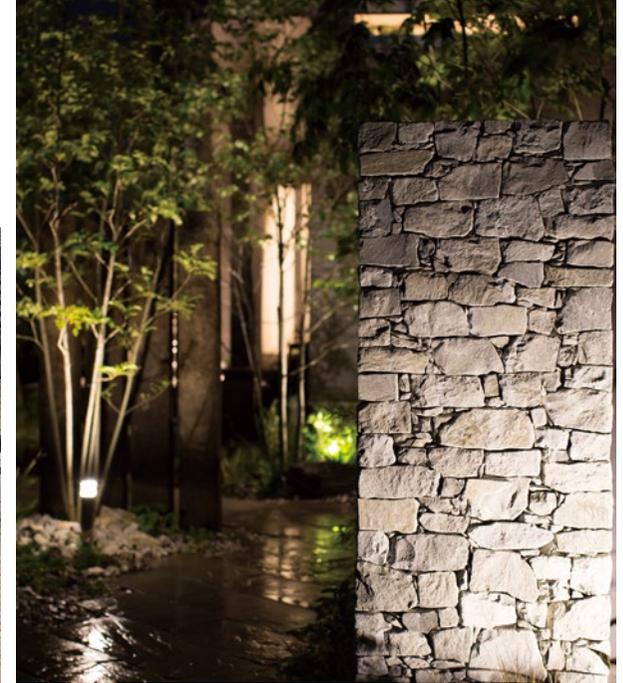
建築のバルコニーに採用されている木目彫のアルミ商材に合わせたアーチを設定し、自然豊かな表情を持つ志賀石を取り入れることで、柔らかな質感演出が施されたファサードデザインの作品です。

新商品部門 銀賞



審査員コメント

建物に合わせたシックなトーンの外装デザインは、特徴的な自然素材の門袖やスクリーンなど、採用した多彩な素材を植栽による緑蔭を添えることで、連続した柔らかな空間にまとめられた作品です。



新商品部門 銀賞



審査員コメント

建築意匠に合わせ、モノトーンでまとめ上げられたエクステリアデザインです。玄関前の門袖には、新商品のウィンドブリックを採用し、単なる壁とならないよう透かしのアクセントとして、こだわりの表情を作り上げられた作品です。

アイデア部門 金賞



審査員コメント

建築と連動した大壁に囲まれたインナーパティオスペースには、限られた空間に合わせた枝の動きが奥行を演出しています。建築基礎とGLの差を活かしたダウンフロアには、ウリン材のウッドベンチが設置され、日の光と樹木の影を浴び、心地よい空間が演出されています。



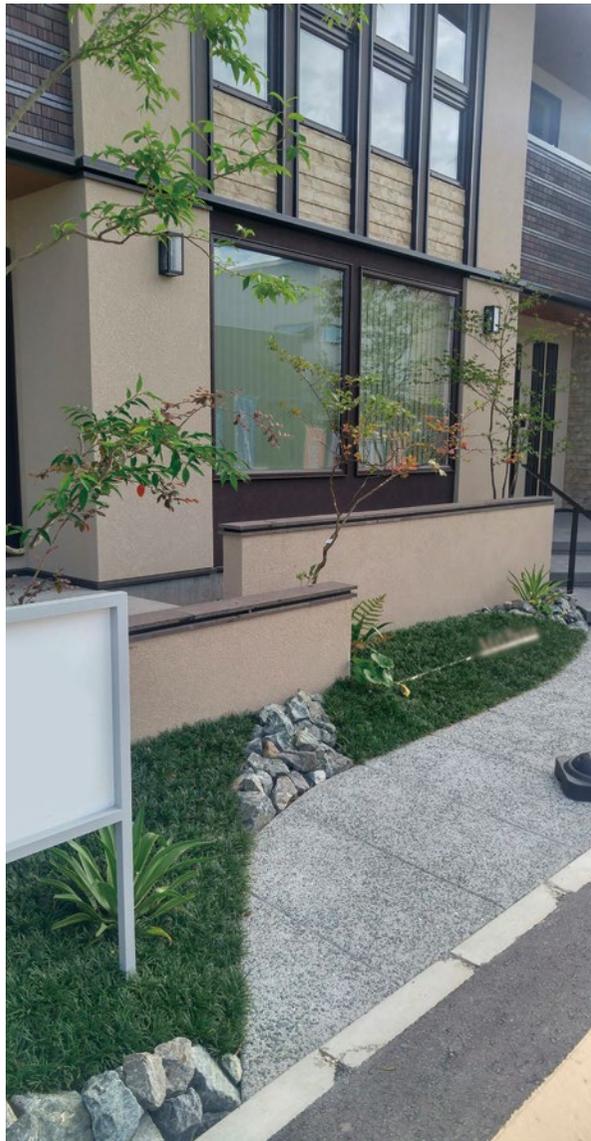
アイデア部門 銀賞



審査員コメント

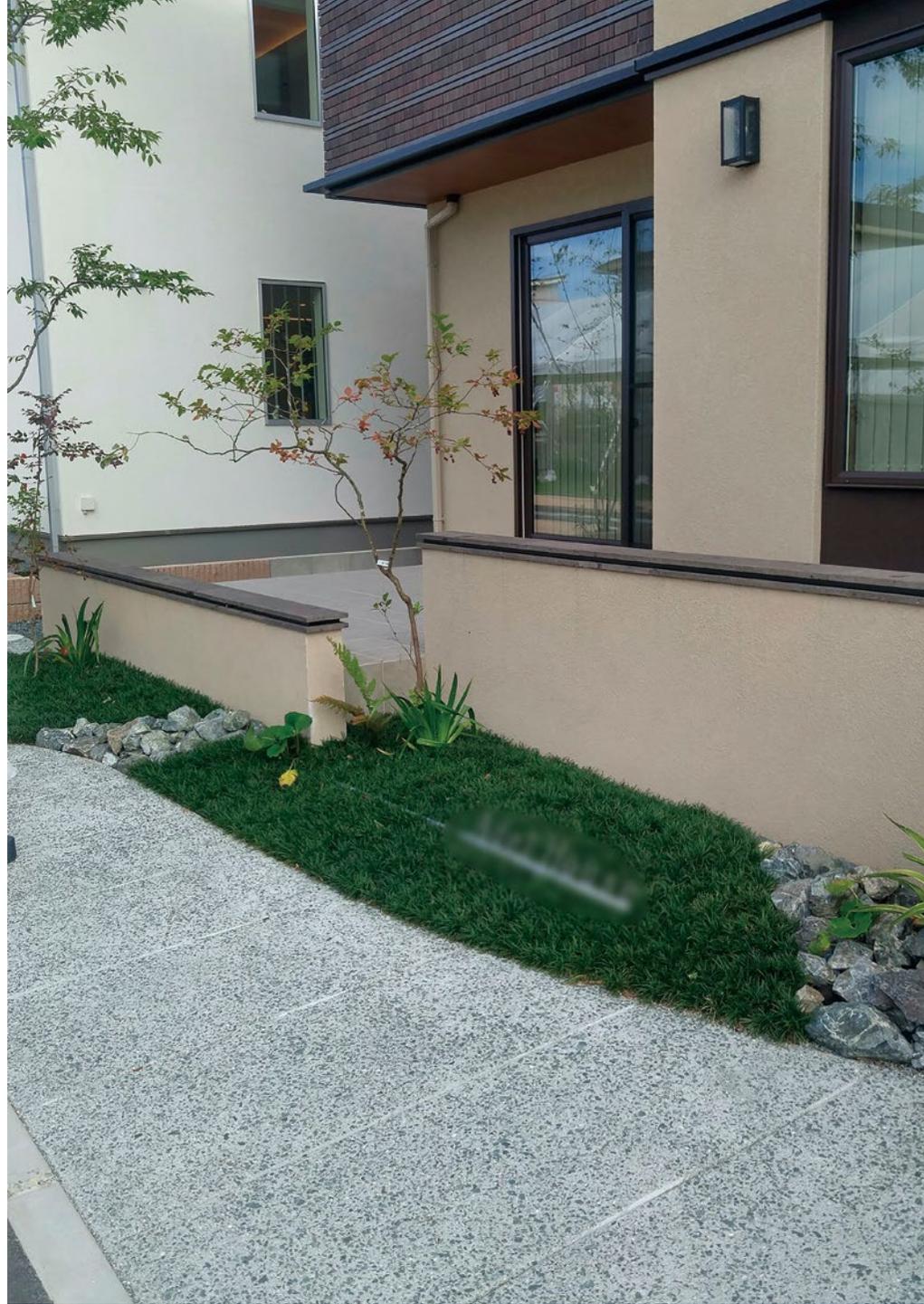
ウッドデッキ脇に法面形成された動きのある日田天領石が、フロア面の変化を演出し、シンプルな門袖と手摺りなど、少ない要素で独創的な意匠を提案し、インパクトのある空間を提供した作品です。

アイデア部門 銀賞



審査員コメント

建築意匠に合わせて設けた低めの壁には、二段に重ねたカいセリの笠木を採り入れ、美しいエッジを立体的に際立てています。変化に富んだデザインを採用しつつ、植栽の枝ぶりや下草の配色で小さく美しい装飾空間を作り上げ、細部へのこだわりが感じられる作品です。



ライティング部門 金賞



審査員コメント

建築意匠に合わせた外周部のウッドフェンスが、居室とつながる庭空間を部屋の一部として感じることができます。建物に近い位置には植栽を設け、ライティングによる反射効果も手伝って、美しい空間に仕上がった作品です。

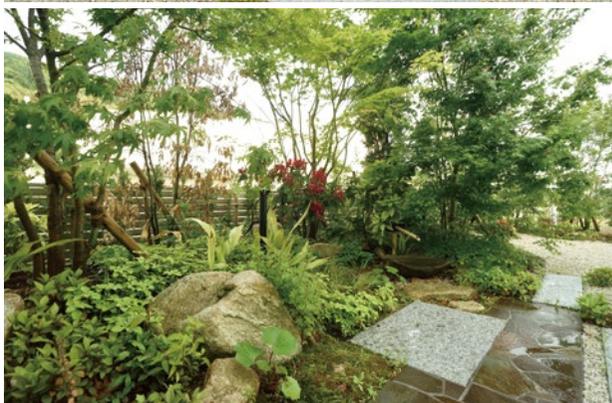
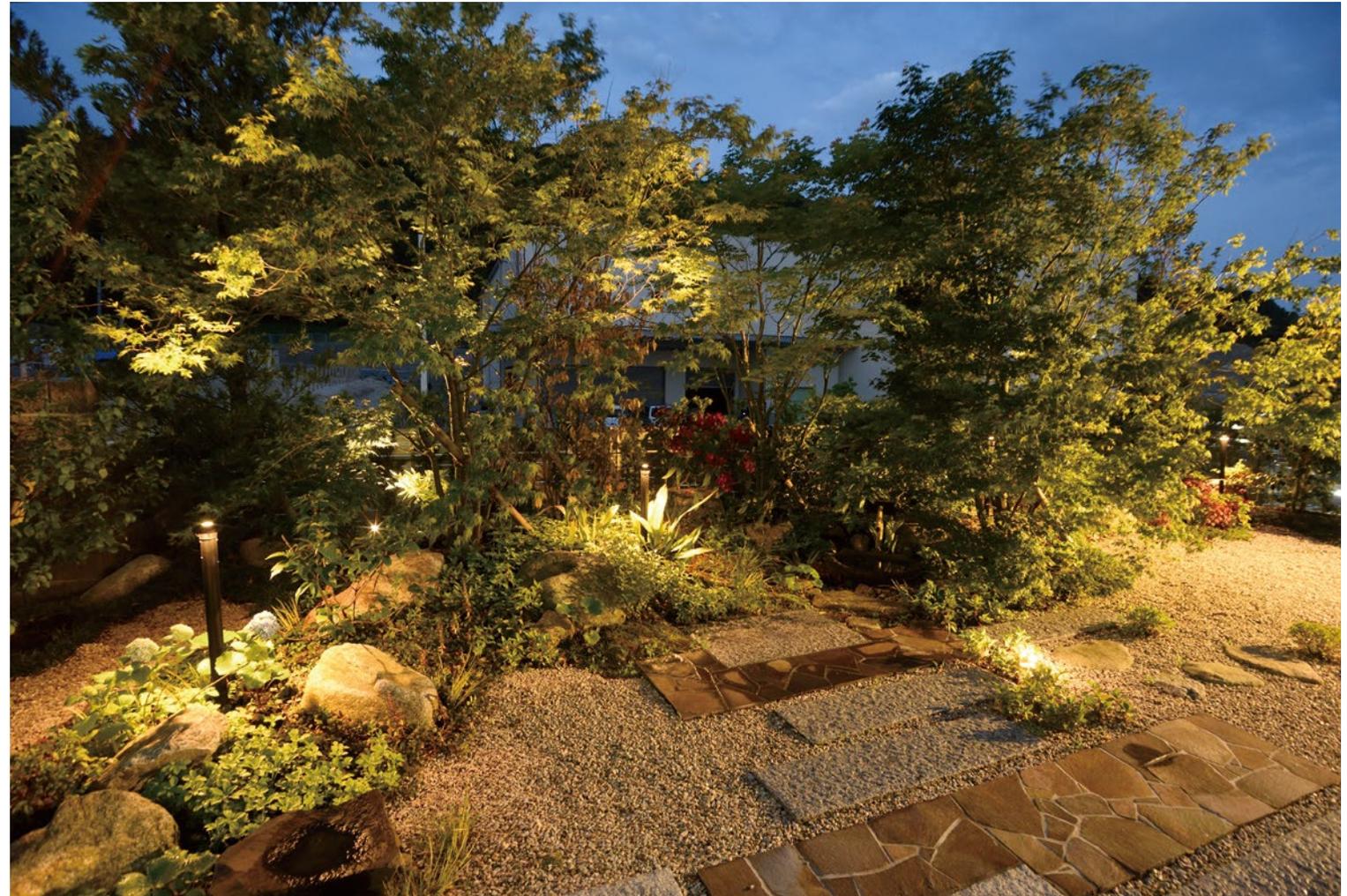
ライティング部門 銀賞



審査員コメント

抜き穴から漏れる光を取り入れたサビ鉄板のオブジェと、光に照らされた樹木とのコラボレーションが、インパクトのある作品です。居室から眺める空間は、昼夜に見る二つの表情の変化を楽しめる特別な演出となっています。

ライティング部門 銀賞



審査員コメント

広大な庭空間の一部を部屋から眺める視点で切り取った植栽空間です。照明による光のアンジュレーションとアップライトにより、庭の奥行や樹木の高低差をより美しく表現しており、自然が作り出す美しい表情が演出された作品です。

リフォーム部門 金賞



Before



After



審査員コメント

アウトドアの要素を持ち合わせ、ファニチャーをしっかり配置することで、コミュニケーション性、利用価値を明確に表現しています。建物との調和に採用された大きめの植栽で全体をまとめ上げ、敷地を一体化する意匠性と空間づくりが実現された作品です。

リフォーム部門 銀賞



Before



After



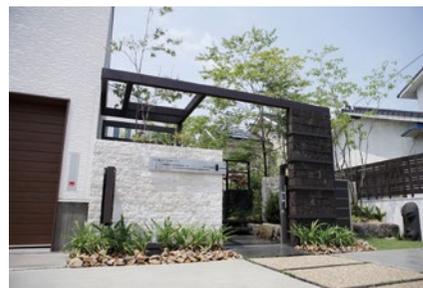
審査員コメント

駐車場からアプローチまでデザインを施して、過ごす楽しみや使い勝手をしっかりと提案されています。植栽を入れることで柔らかな表情もプラスされ、活用されていなかった敷地が一気に生まれ変わり、住まいへの価値が明確にあらわされている作品です。

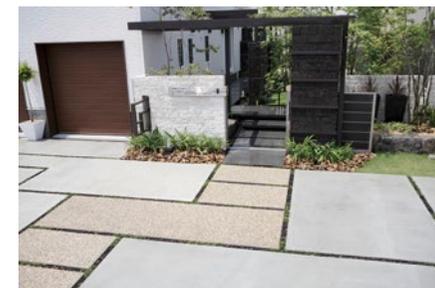
デザインコンテスト受賞のポイント

その1 ◆ 見せたいポイントに合わせてアングルを工夫 ◆

作品によってローアングルで撮った方が良い作品と、ハイアングルで撮った方が良い作品があります。特に床のデザインにポイントがある場合は上から、被写体に迫力を出したい場合は下から撮影すると、それだけでも印象が変わってきます。



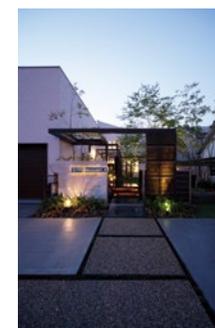
ローアングルの写真



ハイアングルの写真

その2 ◆ 夜のシーンは少し明るいうちから撮影 ◆

夜の写真は、思ったよりも暗く写ってしまうので、建物の外壁や床の仕上げが見えるくらいの早い時間（夕暮れ時）から数分おきに撮影しましょう。ただし、その時間だと自動点灯装置が付いているガーデンライトは点灯していませんので、センサーの部分にガムテープなどを貼って、早めに点灯させてから撮影すると良いでしょう。なお、夜の撮影は手ブレしやすいので必ず三脚を使用しましょう。



その3 ◆ ビフォー&アフターは必ず同じ構図で撮影 ◆

ビフォー&アフターの場合は同じ構図で撮影することが重要です。別の角度から撮影すると、変化が分かりにくくなってしまいます。同じ角度で撮影すれば、「こんなに変わった」というのが、よく伝わります。そのことを考えて、着工前にいろいろな角度から沢山撮影しておきましょう。



ビフォー



アフター

その4 ◆ 全景と一番のセールスポイントをセットで撮影 ◆

同じアングルの写真ばかりだと、「確かにここは良いが、ここ以外他のところは何もしていないのでは?」と思われてしまうので、全景が良く分かる写真と1番のセールスポイントをセットで撮りましょう。

また、写真は色々な方向から沢山撮影し、その中からベストだと思われるものを応募することをお勧めします。



全景



セールスポイント

その5 ◆ アプローチに変化をつける ◆

最近では、狭小地が多くなっているので、アプローチをシンプルに真っすぐにとる傾向があります。そういった単調になりがちな、アプローチに少し変化を付けるだけで印象が変わってきます。例えば、門を正面に構えないで、あえて横に90度に設け、回り込んで門に入っていくようなデザイン処理をすると、狭小地であっても、非常に奥行き感が出て、見応えのあるプランになるでしょう。



事例1



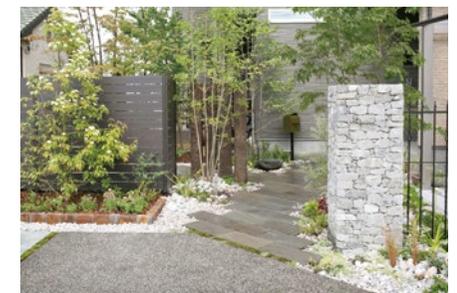
事例2

その6 ◆ 植栽と化粧砂利を効果的に活用 ◆

壁と床の境目や敷石と敷石の境目を隙間なく繋げるのではなく、少し隙間をあけ、そこに植物を入れると良いでしょう。植物で埋めきれない場合は、地面を覆うように化粧砂利を上手く敷いて、ポイントで植物を入れると効果的です。



事例1



事例2